

令和2年7月9日

阿賀野市議会議長 風間輝榮様

産業建設常任委員会委員長 浅間信一

所管事務調査報告書

本委員会は、令和2年第3回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 建設課所管の建設事業計画箇所について
- 2 調査期日 令和2年7月9日(木) 午前9時30分
- 3 調査経過

令和2年7月9日、阿部産業建設部長、石原政策監、田邊農林課長並びに担当職員の出席を求めて本委員会を開催し、調査事項について担当部長及び担当職員から説明を受け、質疑、意見集約を行いました。

4 調査結果

消雪パイプの新設工事1箇所、更新工事2箇所、道路改良工事1箇所を調査対象といたしました。

消雪パイプの新設または更新箇所の設定の考え方は、新設については、人家が連坦していて、雪の堆積場所の確保が難しく、機械除雪の対応が難しいところ、または苦慮しているところに場所を選定しており、更新については経過年数、交通量、損傷具合等を踏まえて年次計画を立てて順次計画的に進められています。

緑岡107号線の消雪パイプの新設については、姥ヶ橋の平成28年4月から平成30年2月にかけて63区画造成したエリアで62世帯220人が住んでいる区画で、約1キロメートルの消雪パイプを井戸一本で、時間で区切り交互に水を出し消雪する交互散水という方式を採用しています。現在、井戸掘削をしており8月中旬に、消雪パイプの発注工事を予定しているとのことです。

御巡幸線消雪パイプ更新工事については、笹神地区山崎の山東自動車からJAささかみの通りの区間で、この路線は、昭和57年に消雪パイプの整備を行った後、井戸の取水量不足から平成24年度に井戸の掘り換えが行われています。その後もノズルの散水不良や漏水などが確認され、不具合が生じていることから、

今年度パイプの打ち換え工事 490 メートルを実施する予定となっております。

寺社保田久保線消雪パイプ更新工事については、昭和 43 年に施工し、井戸の取水量不足から平成 6 年に井戸の掘り換えを行っております。その後もノズルの散水不良や漏水などが確認されたため、旧国道 49 号、安田交番から阿賀町方面へ 410 メートルの区間施工しており、旧国道 49 号全体については、次年度以降も継続して消雪パイプの打ち換え工事を実施する予定です。

弥生町上中野目線道路改良工事については、県営湛水防除工事の安野川の河川改修工事と併せて市が道路改良工事を実施しています。この工事は川の堤防側から考えた橋の高さや道路法線を上流側へずらすため、現道に取りつくまでの間を新潟県が施工し、市が施工する弥生町側 160 メートルについては、今年度完了予定となっております。

現地調査後、質疑を行い、緑岡の消雪パイプの交互散水の効果について大雪になると車で雪を踏み固めてしまい消雪パイプの効果が無くなるので、そのときは、機械除雪で臨機応変に対応していただきたいと委員会から意見を出し、建設課でも雪の状況をみて対応するとのことでした。

以上、産業建設常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。